

災害精神医療

首都直下型地震などの大規模災害に備え、都内発災時（発災直後から中長期）における、災害時こころのケア体制（東京DPAT）や関係団体等との連携体制を構築するとともに、災害時に精神科病院から患者が円滑に転院することができる受入体制の整備を推進する。

年度	主な出来事	
H23	○東日本大震災 ⇒こころのケアチーム派遣	【1】東京DPAT <ul style="list-style-type: none"> ○ 首都直下地震も想定し、災害時の精神保健医療活動について訓練を受けた多職種チームを常設することで、発災直後から支援活動ができる体制を整備 ○ 民間病院、都立病院及び精神保健福祉センターが組織 ○ 隊員の技能維持のためのフォローアップ研修（令和2年度）や、更なる体制強化のためのファシリテーター養成研修（令和3年度）を開始
H28	○東京都災害時こころのケア体制整備事業開始 ○熊本地震 ⇒こころのケアチーム派遣 ○普及啓発研修開始	
H29	○東京DPATマニュアル策定 ○東京DPAT創設【1】	
H30	○東京DPAT養成研修開始	
R1	○東京DPATが各種訓練に参加開始 ○災害拠点精神科病院、災害拠点精神科連携病院指定開始【2】	
		【2】災害拠点精神科病院・災害拠点精神科連携病院
		【災害拠点精神科病院】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主に措置入院患者及び隔離・拘束中の患者の受入れ ○ 一時避難（転院調整を含む。）
		【災害拠点精神科連携病院】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主に医療保護入院患者の受入れ

< 【1】関係の実績 >

※ 約25人/年が離職等で隊員登録抹消

< 【2】関係の実績 >

	H29	H30	R1	R2	R3
登録機関数	25病院	28病院	30病院	30病院	30病院
養成研修修了者 (累計数)	—	188人	80人	28人	40人
年度末隊員数 (※)	—	188人	253人	250人	265人
フォローアップ研修	—	—	—	55人	148人

	R1	R2	R3
災害拠点精神科病院設置数	1病院	1病院	2病院
災害拠点精神科連携病院設置数	6病院	14病院	22病院

令和4年以降も引き続き体制の拡充と発災時の対応力を強化を検討

医療対策拠点設置病院と当該圏域の東京DPAT登録機関

No.	圏域	基幹災害拠点病院／ 地域災害拠点中核病院	東京DPAT登録機関(医療対策拠点設置病院に近い順)
1	区中央部	日本医科大学付属病院	日本医科大学付属病院
2	区南部	東邦大学医療センター大森病院	東邦大学医療センター大森病院(R4新規)
3	区西南部	東京都立広尾病院	東京都立広尾病院、東京都立松沢病院、昭和大学附属烏山病院
4	区西部	東京医科大学病院	
5	区西北部	帝京大学医学部附属病院	東京都立豊島病院、日本大学医学部附属板橋病院、成増厚生病院、陽和病院、大泉病院、慈雲堂病院
6	区東北部	東京女子医科大学附属 足立医療センター	大内病院、成仁病院、東京足立病院
7	区東部	東京都立墨東病院	東京都立墨東病院、順天堂東京江東高齢者医療センター
8	西多摩	青梅市立総合病院	東京海道病院
9	南多摩	東京医科大学八王子医療センター	駒木野病院、平川病院、恩方病院、高月病院、七生病院、桜ヶ丘記念病院
10	北多摩西部	国立病院機構災害医療センター	立川病院
11	北多摩南部	東京都立多摩総合医療センター/ 東京都立小児総合医療センター	東京都立多摩総合医療センター/小児総合医療センター、吉祥寺病院、青木病院、井之頭病院
12	北多摩北部	公立昭和病院	国立精神・神経医療研究センター病院、山田病院

(令和4年11月1日時点)

東京都災害拠点精神科病院

No.	指定年度	医療機関名
1	令和元年度	井之頭病院
2	令和3年度	東京都立松沢病院
3	令和4年度	国立精神・神経医療研究センター病院

東京都災害拠点精神科連携病院

No.	指定年度	医療機関名
1	令和元年度	東京武蔵野病院
2		成増厚生病院
3		高月病院
4		平川病院
5		桜ヶ丘記念病院
6		根岸病院
1	令和2年度	成仁病院
2		吉祥寺病院
3		東京海道病院
4		昭和大学 附属烏山病院
5		青木病院
6		大泉病院
7		長谷川病院
8		東京足立病院
1	令和3年度	青梅成木台病院
2		恩方病院
3		慈雲堂病院
4		多摩あおば病院
5		西八王子病院
6		陽和病院
7		三恵病院
8		こころのホスピタル町田

(令和4年11月1日時点)